

中学校3年生用
振り返り学習教材
国語



文部科学省

年 組 氏名

中学校三年生の皆さんへ

この教材は、中学校三年生の主として夏頃までに学習したことを、振り返って学習したり、自分の学習状況を確認したりすることができるよう作成しました。

今までの学習を思い出し、まずは自分一人を取り組んでみましょう。分からなかった問題や、間違えた問題があった場合には、解説を読んだり、教科書等で確認したりしましょう。

学校の先生方へ

学校の先生方におかれましては、本教材の趣旨を踏まえつつ、学校や生徒の実情に応じて無理のない範囲でご活用ください。

本教材が、先生方の指導の一助になることを願っています。

目次

1	インタビューをする	1
2	町のよさを紹介する	3
3	投書を書く	5
4	案内文を書く	9
5	文学的な文章を読む	13
6	説明的な文章を読む	21
7	語句などの問題	27
	解答・解答例、解説	36

■「話すこと・聞くこと」の問題を解いてみましょう。

1

田中さんは、「身近な職業調べ」を行うことになり、近所にある魚屋の店長にインタビューをすることにしました。次は、インタビューをする際に用意した【準備のメモ】と実際の【インタビューの一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【準備のメモ】

- 目的
身近な仕事の魅力を知る。
- 必ず聞くこと
 - ①仕事をしていて大変だと思うこと
 - ②仕事をしていてよかったと思うこと
 - ③お客さんのために工夫していること

【インタビューの一部】

田中さん 今日、1 ために来ました。早速ですが、お店の営業時間を教えてください。

店長 営業時間は、十時から夜の八時までですよ。

田中さん 十時から営業ということは、朝の準備は八時くらいからですか。

店長 とんでもない。毎日四時には市場に行っていますよ。

田中さん 毎朝四時ですか。大変ですね。どうしてそんなに早いのか。

店長 いい魚を仕入れたいからです。いいものからすぐになくなってしまいますからね。お客さんにおいしい魚を提供するためには、大変でも早く仕入れに行くのは大切なことなんです。

田中さん お客様のためとはいえ、本当に大変なお仕事ですね。では、魚屋という仕事をしていてよかったと思うときはどんなときですか。

店長 お客さんの笑顔が見られたときですね。「昨日買った魚、おいしかったよ」と言っていたときは最高ですよ。

田中さん お客さんのために、工夫されていることはありますか。

店長 工夫していることは、店の前の看板に今日のおすすめの魚を書くことと、その魚の調理の仕方を簡単にまとめたレシピを無料で配っていることです。

田中さん 2

インタビューをする

一 に入る田中さんの言葉として最も適切なものを選び、記号に○を付けなさい。

- ア お客さんを集める効果的な方法を知る。
- イ 魚屋さんという仕事の魅力を知る。
- ウ 様々なお店の営業時間を知る。
- エ どうしたら魚屋さんになれるのかを知る。

二 田中さんのインタビューの言葉の中で、**ふさわしくないもの**があります。その言葉を【インタビューの一部】から抜き出し、次の欄に書きなさい。

三 2

で田中さんは、店長さんの答えたお客さんのための工夫について、さらに質問をしようと思います。どんな質問が考えられますか。実際に話すように二つ書きなさい。

資料 2

住みやすい町

①

②

③

資料 1

海を感じる町

- ①海水浴に自転車で行ける
- ②新鮮な魚が毎日食べられる
- ③いつも美しい海が見られる

2

修学旅行先の中学校と交流することになった石川さんは、自分が住んでいる町のよさを紹介しています。次は、【提示した資料】と【発表の内容】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【提示した資料】

【発表の内容】

これから、私たちが住んでいる町のよさを二つ紹介します。

(資料 1 を提示しながら) 一つ目は、「海を感じる町」という点です。町の南には、広く太平洋を望む海岸があり、夏には、絶好の海水浴のスポットになります。ですから、私たちは、家から自転車で簡単に泳ぎに行くことができます。また、その時期になると、多くの観光客が訪れ、浜辺には出店が立ち並ぶので、とてもにぎやかになります。もちろん、近所の魚屋では新鮮な魚が手に入るので、毎日手軽に旬の魚が食べられます。町のどこからでも美しい海が見渡せて、私たちはいつも海を身近に感じることができます。

(資料 2 を提示しながら) 二つ目は、住みやすい町という点です。まず、交通の便がとてもよいことが挙げられます。地域に循環バスが走っていて本数も多いので、移動の手段に困ることがありません。新幹線が停まる駅にも近いので、遠くに出かける際にも便利です。市内には無料の駐輪場も多く設置されていて、中学生の私たちにとっても便利です。また町の中に大きなショッピングモールや商業施設があり、買い物や遊びの場所なども充実しています。しかも、住んでいる人たちのマナーに対する意識が高く、町全体が非常にきれいです。

以上のように、私たちが住んでいる町には、人々を引きつける魅力的な要素がたくさんあります。ぜひ、みなさんも一度遊びに来てください。

■「書くこと」の問題を解いてみましょう。

3

次は、山田さんが書いた新聞への投書の下書きです。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

ゴミ捨て全部ひとくくり？

山田 陽子（15歳）

最近、コンビニエンスストアの前にゴミ箱がないあと不思議に感じている人はいませんか。私の家の近くのコンビニエンスストアも、少し前までは店の外に設置されていたのに、この頃見かけなくなったと思ったら、店の外ではなく店内にゴミ箱を設置し直していました。その理由を聞いたところ、家庭ゴミを捨てる人が多いからだそうです。

そういえば、私が利用している駅のゴミ箱には、手製のふたが設けられ、「家庭ゴミを捨てないでください。」という貼り紙が貼ってあります。とても丁寧な文字です。家庭ゴ

ミの回収が毎日ではないことが影響しているのだと思いますが、コンビニエンスストアや駅のゴミ箱に家庭ゴミを捨てるのはマナー違反だと思います。

でも、友人に話すと、「ゴミ箱はゴミを捨てるためにあるのだから、分別の決まりさえ守れば、どんなゴミを捨てるでもよいと思う。厳しくすると、道端に捨てる人が出てくるのではないかな」という意見でした。私は納得できません。ゴミ箱だからといってどんなゴミでも捨ててよいとは思えません。皆さんはどう思いますか。

一 山田さんの投書の下書きの構成の説明として最も適切なものを選び、記号に○を付けなさい。

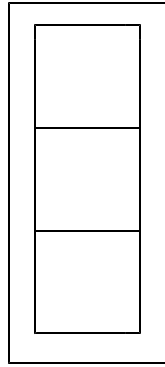
ア 始めと終わりに結論を述べ、自分の意見が読者に伝わるようにしている。

イ 自分の地域と他の地域を比較することで具体例を提示し、問題点を浮き彫りにしている。

ウ 意見の根拠となるデータを数値で示した上で、自分の意見に説得力をもたせている。

エ 身近な体験をもとに自分の意見を述べ、反対意見も取り上げながら問題を投げかけている。

二 山田さんは、文章全体を読み直し、今回の意見を述べるに当たって不要な一文を削除しようと思います。その一文の最初の三字を書きなさい。



三 あなたは、「ゴミ箱だからといってどんなゴミでも捨ててよいとは思えません。」という山田さんの意見に賛成ですか、反対ですか。次の条件にしたがって、あなたの考えを書きなさい。

【条件】

- ・最初に、山田さんの意見について賛成か反対か、どちらかに○を付け、あなたの立場を明確にしてから書くこと。
- ・「なぜなら、」に続けて書くこと。
- ・自分の知識や経験などをもとに、その理由を具体的に書くこと。

投書を書く

私は、山田さんの意見に（賛成・反対）です。なぜなら、

【学校だよりの文章】

吹奏楽部 定期演奏会迫る

例年4月に町立公民館で開催していた吹奏楽部の定期演奏会ですが、今年度は10月10日（土）午後1時から、第二中学校体育館で開催します。たくさんの方々に本校吹奏楽部の演奏をお聞きいただきたいと思います。昨年12月の県吹奏楽コンクールでは最優秀賞を受賞しました。3年生は卒業しましたが、1・2年生で定期演奏会へ向けて少しずつ練習を積み重ねてきました。きっと心に響く演奏を聞かせてくれるものと期待しています。

また、地域の方々にも見ていただけるよう案内を届けることになりました。保護者の皆様も是非お越しくください。なお、演奏中の出入りはご遠慮ください。校内は駐車場がありませんので、車でのご来校はご遠慮ください。また、本校はスリッパがありませんのでスリッパ等、上履きをご持参ください。皆様のご来場をお待ちしています。

吹奏楽部の川口さんは、次の【学校だよりの文章】と【昨年度の案内文】をもちにして、地域の人に向けた定期演奏会の案内文を作ることになりました。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【昨年度の案内文】

平成31年4月12日

第二中学校 地域の皆様

第二中学校吹奏楽部

吹奏楽部定期演奏会のご案内

うらかな日差しが心地よい季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、このたび第二中学校吹奏楽部では恒例の定期演奏会を下記のように開催いたします。吹奏楽部全員が定期演奏会に向けて全力で練習に励んできました。お忙しい中とは思いますが、日頃の努力の成果を是非ご覧いただきたくご案内申し上げます。

記

- 1 日時 平成31年 4月27日（土）
開演 午後 1：00
- 2 会場 町立公民館 大ホール
- 3 曲目 チャイコフスキー 「くるみ割り人形」
童謡メドレー 「赤とんぼ・ふるさと等」
吹奏楽のための民謡

- 4 注意事項
 - ・公共交通機関をご利用ください。
 - ・演奏中の出入りはご遠慮ください。

案内文を書く

一 今年度の案内文は、九月一日に出します。その際、川口さんは、【**昨年度の案内文**】のAの文章を生かそうと考えていますが、書き直す必要のある一文があります。その一文を抜き出し、適切に書き直しなさい。

△抜き出した一文◇

△書き直した一文◇

二 【**昨年度の案内文**】の書き方を踏まえて、Bの「注意事項」として必要な内容を今年度用に書き直しなさい。

■「読むこと」(文学的な文章)の問題を解いてみましょう。

5

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。記号で答える問題は、最も適切なものを選び、記号を○で囲みなさい。

魔法のようにうまくいったわけではなかったものの、それから一時間くらい、原稿用紙と格闘して、やっと、ふたつの詩を仕上げることができました。どちらも、ぱっと頭に浮かんできた光景、身近で起こったできごとを、そのまま言葉に置きかえただけのものです。それぞれ違ったタイトルをつけて、でも、全体のタイトルを「希望」にしました。

先生に何か言われたら、片方の詩は大きくて深い希望がテーマで、もう片方は小さくてかわいい希望です、って言えばいいやと思っていたのです。あるいは、片方は希望の色、もう片方は希望の香り。

ぱっと頭に浮かんできた光景は「菊花展^{注1}」で、詩のタイトルは「菊」にしました。

去年の秋、家族みんなで出かけたデパートで、たまたま催されていた菊花展を観賞していたとき、ひとりの老人と出会ったエピソードをもとにして、書いた詩でした。もっと正確に言えば、その老人とは、出会ったのではなくて、わたしが老人を見かけた、ということなのです。

白い杖^{注2}を持った人が

くいているように、菊を見ている。

あざやかな黄色の菊を見ている。

その人の目は灰色に暗くしずみ

明るいひとみの輝きを持たない。

その人は何を見ているのだろう。

その人の目にはいったい

何がうつっているのだろう。

菊の底知れない美しさをさがすように

その人はじつと菊を見つめている。

まるで地面にすいついたかのように

その人は動かない。

その人の手は微妙に動き

その見えない目は異様に光る。

その人は菊の何を見ているのだろう。

その人は菊に何を求めているのだろう。

やがてその人は静かにうつむき

見えない目を、今度は白い菊に向ける。

その人はうす紅色のほっぺたに

しわだらけの手をそつとあてて

やさしくほほえむ。

もう一編は、今年のはじめに身近で起こったできごとをもとにして、タイトルは「乳液と弟」。

学校から帰ると弟が

スリッパの音をパタパタいわせて走りよってきた。

「机の上においしそうなものがあるよ」

——おしやれなおねえちゃんへ。母より
たのんでいた乳液だ。

平べったい四角いガラス瓶に

「レモン」と英語で書いてある。

となりに小さな文字で「しなやかなお肌をつくります」

夜、ホームごたつのなかで、みかんを食べながら

弟としゃべる。

「おねえちゃん、しなやかなお肌って、どういうこと？」

「すべすべとしてること」

「乳液って、どうするもの？」

「顔につけるもの」

「ぼくもつけていい？」

「女の人だけがつけるの」

弟はなぜか、わたしの乳液にこだわる。

翌朝、めずらしく弟が早起きをしている。

朝食のとき、なにげなく弟のとなりにすわった。

ぷーんとおう。たまらなくいい匂い。

レモンのような……

あつと声をあげて、急いで見に行った。

やっぱり……

乳液は半分になっている。

パチンと軽く弟のほっぺたをたたいたら、

わたしの手にべっとり乳液がついた。

夜、お風呂から上がって乳液をつけていると

ベッドのなかの弟の小さな目が

じつとこつちを見ている。

つんとすまして得意そうに、ペタペタとつけた。

うらやましそうな目だ。

わたしは、人さし指のさきつちよに乳液をつけて

弟の鼻の頭にくつつけてやった。

くつつくつ……

笑いをこらえている弟の顔は、今にもゆがみそう。

寝る前に、弟のベッドをのぞいてみた。

弟は鼻の先に乳液をつけたまま

気持ちよさそうに寝ていた。

二編の詩を提出してほどなく、文芸クラブの顧問の先生から「大事な話があるの」と、放課後、図書室に呼び出されました。ああ、やっばり、と、わたしはうなだれました。

これは「作文じゃありません」って言われるんだろうな。「やり直し」あるいは「書き直し」を命じられるんだろうな。あーあ、

うんざりだなあ。

おずおずと、頭を甲羅こうらのなかに半分ほど引っこめている亀になったような気持ちで、図書室に顔を出すと、あれっ！ 談話コーナーのソファ―に腰を沈めて、わたしを待っている先生の顔は、にこにこしているではありませんか。

それだけではありません。

さらに驚いたことに、わたしが先生の向かいに座るとすぐに、先生はこう言ったのです。テーブルの上から、原稿用紙の束を取り上げて。

「これね、どっちもすごくよかったわよ。それぞれの『希望』もよく表れていたし」

「え？」

だったか「あ？」だったか、わたしの反応は「う？」だったかもしれません。

「ただね、ふたつの詩をむりやり『希望』というひとつのタイトルでまとめてしまうのは、ちょっと惜しい気がするの、それぞれの詩を独立した形で、掲載するようにしましょう。読んだ人がそこから『希望』を読み取れたら、それでいいわけだから。どちらも本当によかったわよ。私、感動しました」

か、感動？ まさか。

わたしの頬はまっかに染まっていました。

あり得ないことが起こった。夢みたいなことが起こっている。

けれど、これは夢ではなくて、現実。目の前で起こっていることです。

先生はわたしの目の前で、「大事な話」のつづきをしています。先生が手にしているのは「乳液と弟」というタイトルの詩。小さな希望の方です。

「この詩には、とつても生き生きした情景、生活感があふれていて、なんていうのかな、ほほえましくて、かわいらしくて、おねえさんが弟を思う気持ちもよく伝わってくるし、等身大の素直な言葉が、とつてもすてきでした。行間からいい香りもしてきました」

先生には「希望の香り」が伝わったんだなと思い、わたしもまた、あの朝、弟の顔から匂ってきたレモンの香りを思い出していました。

「それから、こちらね。こっちはそれとは対照的で」

そう言いながら、先生はもう一編の詩「菊」を取り上げて、二枚の原稿用紙をテーブルの上に並べて置きました。

「深く感動したのは、実はこっちな。ところでこれは、本当に起こったことかしら？」

先生はまっすぐにわたしの目に視線を当てて、そう言いました。そのときの先生の目は、決して笑ってはいませんでした。

「あ、いえ、はい、ほとんどは実際にあったことです。半分くらいは」

「じゃあ、残り半分は？ 想像なの？」

「はい……」

確かにあの日、菊花展で見かけた人は、手に白い杖を持っていました。とはいえ、実際に目の不自由な人だったのかどうかは、わかりません。ただ、その人のそばに寄り添っている人の仕草や行動から察すると、そのように思えたのです。もしも、この人の目が見えないのだとしたら、この人はいつたい、どんな菊を見ているのだろう、と、わたしは興味を抱きました。興味というよりも、どこか感動に近いような感情でした。もしかしたら、「わたしには見えないもの」「わたしには見えない色や形」「わたしには見えない菊の美しさ」をこの人は見ているのではないか。

そういう「妄想」がよくなかったんだらうなあ、などと思っていると、

「もしも一部が想像と創作だとすれば、そこがいちばん、よかったわ」

と、先生は言うではありませんか。

「本当にあったことじゃなくて、あなたの『想像』だったからこそ、この作品が生きて、命を持ったんだと思います」

(小手鞠こでまりるい『思春期』による。)

(注1) 菊花展……菊の花の展覧会のこと。

(注2) 白い杖……目の不自由な人が歩行するときに使う、周囲の様子を知るための杖。

一 「魔法のようにうまくいったわけではなかったものの」とありますが、この表現から「わたし」のどのような様子が分かりますか。

ア 何とか課題をやり終えることができた様子。

イ 全く課題をやり終えることができなかつた様子。

ウ 満足できる作文を書き上げることができた様子。

エ 人に読んでもらう自信のある詩を書き上げた様子。

二 「わたしの頬はまっかに染まっていました」とありますが、このときの「わたし」の気持ちはどれですか。

ア 先生に詩のやり直しを命じられると、実際に予想したとおりで驚いた。

イ 先生に詩のやり直しを命じられると、実際に先生に注意されたので悲しくなった。

ウ 先生に詩のやり直しを命じられると、意外にもほめられたのでうれしくなった。

エ 先生に詩のやり直しを命じられると、意外にもほめられたので腹立たしくなった。

三 「この作品が生きて、命を持ったんだ」という部分を言い換えた次の文の（ ）に当てはまる言葉はどれですか。

「わたし」のつくった作品が、先生を（ ）させた。

ア 格闘

イ 観賞

ウ 創作

エ 感動

四 「わたし」が書いた二編の詩の特徴は何ですか。

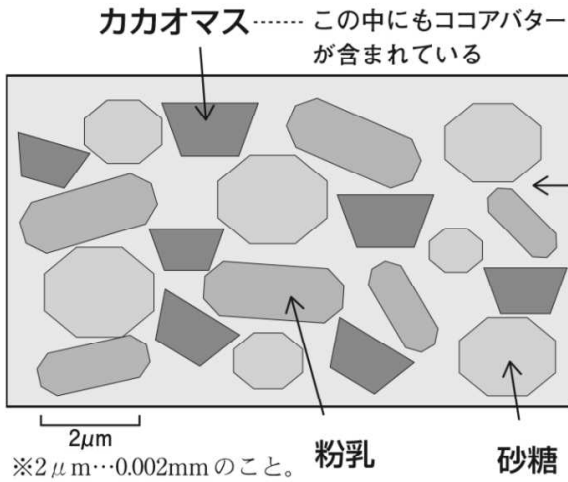
- ア 「乳液と弟」は出来事から想像したことを交えて書かれているが、「菊」は自分自身の体験を中心に書かれている。
- イ 「乳液と弟」は自分自身の体験を中心に書かれているが、「菊」は出来事から想像したことを交えて書かれている。
- ウ 「乳液と弟」、「菊」のどちらの作品も想像したことではなく、自分自身の実際の体験のみが書かれている。
- エ 「乳液と弟」、「菊」のどちらの作品も体験したことではなく、出来事から想像したことのみが書かれている。

五 あなたは、「菊」、「乳液と弟」のどちらの詩に引かれますか。引かれる詩の方に○を付け、表現の仕方に着目して、引かれる理由を具体的に書きなさい。

() 「菊」 ・ () 「乳液と弟」

() 「菊」 ・ () 「乳液と弟」

図1 チョコレートの構造



■「読むこと」(説明的な文章)の問題を解いてみましょう。

6

次は、チョコレートの作り方について述べた文章の一部である。この文章を読んで、あとの問いに答えなさい。記号で答える問題は、最も適切なものを選び、記号を○で囲みなさい。

一方、チョコレートづくりには、カカオの産地ではできないこともあります。「飲むチョコレート」^{注1}はアステカ帝国でもつくっていましたが現地でできますが、問題は「食べるチョコレート」。カカオの産地である熱帯雨林地方は気温が高いため、ココアバターが固まらないのです。

それはそうでしょう。カカオ豆に含まれるココアバターは、カカオにとって重要な栄養分です。それが固まってしまうと、カカオ豆は発芽できません。だからこそ、気温の高い地域でカカオが育つのです。

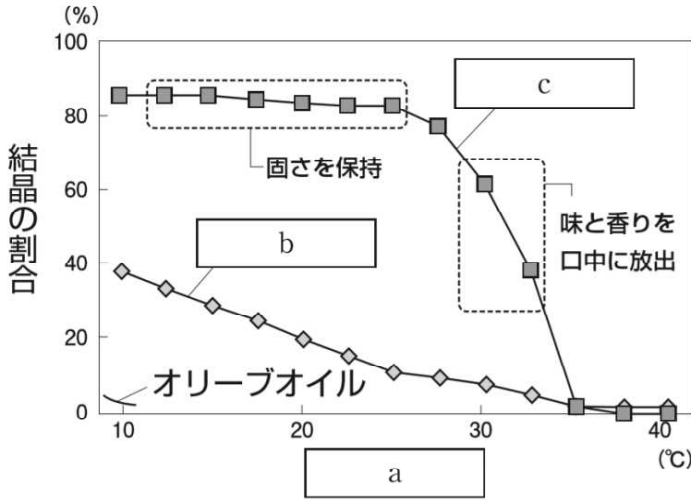
「食べるチョコレート」がつくれるほど気温の低い土地では、そもそもカカオが育ちません。原料であるカカオの産地でチョコレートがつくれなから、いささか皮肉な話だともいえるでしょう。熱帯雨林地方で採集したカカオが気温の低いヨーロッパに持ち込まれたから、ココアバターを固めて「食べるチョコレート」をつくれるようになったわけです。

ちなみに、ココアバターが溶ける温度は、二八〜三三℃。この性質が、「食べるチョコレート」を可能にしました。

ここで、チョコレートの大きな構造を見てみましょう(図1)。

チョコレートには、ココアバターと砂糖のほかに、カカオマスも入っています(脂を搾り取る前なので、このカカオマスにもある程度はココアバターが含まれています)。チョコレートの色合いを決めているのが、このカカオマス。カカオマスが多いほど、濃いチョコレート色になります。ですから、いわゆるホワイトチョコレートには、カカオマスが入っていません。

図2 ココアバター（カカオ脂）の融解特性



余談になりますが、カカオマスがないぶん、ホワイトチョコレートは脂分が多くなるので、ふつうのチョコレートよりも太りやすいといえるでしょう。脂の摂取を気にする人は、カカオマスを多く含む色の濃いチョコレートを選んだほうがベター。また、粉乳入りのミルクチョコレートより、ミルクなしのダークチョコレートのほうがヘルシーです。

B

さて、話をココアバターに戻しましょう。なぜ、チョコレートにはココアバターを使うのでしょうか。

チョコレートなのだからカカオの脂を使うのが当たり前といえそうですが、カカオマスが入っていれば、チョコレートの風味は出すことができます。ならば、それを閉じ込める脂の部分は、必ずしもココアバターでなくてもいいでしょう。ほかの油脂を代用品として使うこともできそうです。

しかし結論からいえば、チョコレート独特注のテクスチャーを出すには、やはりココアバターを使わなければなりません。ココアバターには、ほかの脂にはない特殊な性質が備わっているからです。

その性質を知るために、ココアバターとほかの脂を比較したグラフを見てみましょう。

(図2)。横軸は温度（右に行くほど高い）、縦軸は「結晶の割合」です。

結晶についてはのちほど改めてお話しますが、ここではとりあえず、「固体は結晶の割合が高いほど固い」と思ってください。逆にいうと、結晶の割合が少ないほど、物質は液体に近づきます。つまりこのグラフは、それぞれの脂が「温度が上がるにつれてどれぐらい溶けるか」を表しているのです。

オリーブオイルが低温でも溶けている（結晶の割合が低い）のは、実感としてよくわかるでしょう。室温でも、台所のオリーブオイルがビンの中で固まることはありません。

それにくらべると、バターは結晶の割合がかなり高くなっています。とはいえ、それでも結晶が占める割合はおよそ四〇％。冷蔵庫の中では固まっていますが、構造的には半分以上が「液体」です。しかし、それを結晶が支えるようにして全体としては固体の

状態を保っているので、冷蔵庫から出してすぐには溶けません。

ところが、温かいトーストや熱したフライパンなどに乗せると、バターはすっかり「液体」になります。グラフを見れば、温度の上昇につれて徐々にやわらかくなってゆき、四〇℃前後で結晶がほとんどなくなるのがわかるでしょう。

C

それでは、ココアバターはどんなふうに溶けるのでしょうか。グラフを見ると、低温での結晶の割合がバターよりも高く、温度が上昇してもしばらくはその割合があまり変わりません。二五℃ぐらいまでは八〇%以上が結晶で、固体の状態を保っているわけです。しかし二五℃を超えたあたりから、ココアバターは溶け始めます。さらに三〇℃を超えると、一気に結晶の割合が減少する。この落差が、チョコレート独特のテクスチャーの秘密にほかなりません。

チョコレートは、食べる前はしっかりとした固体なので、手でパキンと割れる「スナップ性」があります。しかし口の中は温度が高いので、食べ始めるとトロリと溶け始める。グラフを見ると、人間の体温（三五〜三六℃）ぐらいになると、ほとんど結晶がなくなるのがわかります。

もし、ココアバターの融解特性が牛乳でつくったバターと同じようなものだったら、私たちはチョコレートを手に持つことができなideでしょう。形がすぐに崩れてしまいますし、手にもベタベタとくっつきます。一九世紀のイギリス人も、そんな脂で固形の「食べるチョコレート」をつくらうとは思わなかったに違いありません。

でも、ココアバターは（ヨーロッパなら）室温でも固形を保つ性質を持っていました。しかも口に入れたとたんに溶け出して、閉じ込められていたカカオマスや、砂糖などの風味が唾液と接することで舌の上に放出されます。チョコレートは、ココアバターがこのような融解特性を持っているからこそ「美味しい」のです。

（上野 聡『チョコレートはなぜ美味しいのか』による。）

（注1）アステカ帝国……五百年ほど前に、今のメキシコのあたりにあった国。

（注2）テクスチャー……ここでは、口当たりのこと。

（注3）融解特性……溶け方の特徴。

四

A

く

C

記号を書きなさい。

に入る、各段落の見出しとして適切なものはそれぞれどれですか。下の欄に

ア オリーブオイルとバターはどのように溶けるのか

イ 熱帯雨林地方で「食べるチョコレート」がつかれない理由

ウ ほかの油脂にはないココアバターの特徴

A
B
C

五 本文を読んで、「チョコレート」について分かったことの中から、興味をもったことについてインターネットでさらに調べようと思います。チョコレートの①何について、②検索窓にどのような言葉を入れて調べようと思いますか。それぞれ書きなさい。

①何について

--

②検索窓に入れる言葉（複数入れる場合は、例のようにスラッシュ（/）で区切って書きなさい。）

（例） 学校／登校／全国

--

語句の問題

■ 語句などの問題を解いてみましょう。

7

次の各問いに答えなさい。

一 次の①から⑩の言葉を、**A**和語（もともと日本で使われていた日本固有の語）と**B**漢語（漢字の音読みで使われる語）に分けなさい。答えは、（ ）内に**A**か**B**を書きなさい。

- ①物語（ ）
- ②新しい（ ）
- ③新鮮（ ）
- ④生活（ ）
- ⑤暮らし（ ）
- ⑥ふるさと（ ）
- ⑦旅館（ ）
- ⑧宿（ ）
- ⑨心（ ）
- ⑩心情（ ）

二 次の①と②の□の中に共通して当てはまる漢字は何か。それぞれの**A**から**E**までの中から一つずつ選び、下の欄に記号を書きなさい。

- ① 三寒 □ 温
- 朝三暮 □
- 苦人苦
- 六時中

ア 三 イ 四 ウ 十 エ 百

①

- ② 一石 □ 鳥
- 者扱一
- 人三脚
- 唯一無 □

ア 千 イ 万 ウ 一 エ 二

②

三 次の①から④の（ ）に当てはまる言葉はどれか。あとのアからエまでの中から一つずつ選び、記号を○で囲みなさい。

① 彼は（ ）から指示が的確だ。

ア 頭が痛い イ 頭が上がらない ウ 頭が重い エ 頭が切れる

② 日頃のがんばりに免じて（ ）。

ア 目をつぶる イ 目をかける ウ 目を細める エ 目をこらす

③ 大げさな演技が（ ）。

ア 鼻が高い イ 鼻につく ウ 鼻であしらう エ 鼻で笑う

④ 父はあの店に（ ）。

ア 顔が売れる イ 顔が広い ウ 顔が利く エ 顔が立つ

語句の問題

四 次の①と②と似た意味のことわざを、あとのアからエまでのの中から一つずつ選び、記号を○で囲みなさい。

① 猿も木から落ちる

ア 飼い犬に手をかまれる イ 亀の甲より年の功 ウ 能ある鷹は爪をかくす エ 河童の川流れ

② 馬の耳に念仏

ア 三人寄れば文殊の知恵 イ 言わぬが花 ウ 猫に小判 エ 犬も歩けば棒に当たる

五 次の①と②の（ ）に当てはまる言葉はどれか。あとのアからエまでのの中から一つずつ選び、記号を○で囲みなさい。

① 私が先生のお宅まで（ ）。

ア くださります イ いらっしゃいます ウ おっしゃいます エ うかがいます

② 先生が私の絵を（ ）。

ア いただく イ 拝見する ウ ご覧になる エ お召しになる

書写の問題

六 あなたは、知人に荷物を送るために、次の【伝票】を書こうとしています。あなたはどのような筆記具を用いて書きますか。あとの【お届け先】と【ご依頼主】について、自分が選んだ筆記具を用いて書きなさい。

【伝票】

お 届 け 先	〒 □ □ □ - □ □ □ □
	ご住所
	おなまえ
ご 依 頼 主	〒 □ □ □ - □ □ □ □
	ご住所
	おなまえ
電話番号 ()	
電話番号 ()	

【お届け先】

〒 963-2937

福島県郡山市小林通り町3-5-7-920

野村 誠

024-3912587

【ご依頼主】

〒 682-10395

鳥取県倉吉市海田北の町9-4-3

谷中 美知子

085-8513023

漢字の問題

七 次の _____ 線部の漢字の読み方を _____ に書きなさい。

- (1) 湖が夕日に映える。
- (2) 五月雨が降っている。
- (3) 若葉が茂る。
- (4) 伯父の意見は正しい。
- (5) 謹んで御礼申し上げます。
- (6) 心が揺さぶられる物語だ。
- (7) 髪の毛が結わえてある。
- (8) 叔母と母はそっくりだ。
- (9) 喉が渴いた。
- (10) 公園は憩いの場だ。
- (11) お店に野菜を卸す。
- (12) 店長が小銭を数えている。
- (13) アルバイトでお金を稼ぐ。
- (14) 風鈴が軒先で鳴る。
- (15) 教えを授かる。
- (16) 悲しい気分を紛らわす。
- (17) 桁が違う。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

- (18) 富士の山麓がよく見える。
- (19) 完璧な作品を作る。
- (20) 整理整頓をしましょう。
- (21) 店の雰囲気が入る。
- (22) 彼は天賦の才の持ち主だ。
- (23) 電波が圏外になった。
- (24) 凡庸な意見は却下された。
- (25) 道路の舗装工事が始まる。
- (26) 本の貸借をする。
- (27) 騒ぎが鎮静する。
- (28) 疲労が累積する。
- (29) 父が家族を扶養する。
- (30) 彼の解釈は素晴らしい。
- (31) 納豆は発酵食品だ。
- (32) 修行はとて厳しかった。
- (33) 秋の渓谷を散策する。
- (34) 兄は怠惰な生活を送る。
- (35) 一抹の不安がよぎる。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

漢字の問題

- (36) 袖が半年で短くなった。
- (37) 蚕が繭を作る。
- (38) 足の爪が伸びた。
- (39) これは鋼でできている。
- (40) 母がイチゴを摘む。
- (41) 病が癒える。
- (42) 水が渦を巻いている。
- (43) 親友が助太刀に来た。
- (44) 草履が並べてある。
- (45) 壁に絵が描いてある。
- (46) 豆を煎る音がする。
- (47) これは木綿でできている。
- (48) 彼の行方を追っている。
- (49) 図書館では私語を慎む。
- (50) 鍋料理の具材がそろった。
- (51) 姉は春から職に就いた。
- (52) 弟子が名人に教えを乞う。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

- (53) 先生が処遇を決める。
- (54) 母は儉約家だ。
- (55) 慈愛の精神を持ち続ける。
- (56) 栈橋から船が見える。
- (57) 価格が高騰している。
- (58) 近所に呉服店がある。
- (59) 彼は強情な性格だ。
- (60) 不正行為は許されない。
- (61) 一般の反対は特殊だ。
- (62) 犬が威嚇している。
- (63) 父は喫茶店で働いている。
- (64) クジラは哺乳類だ。
- (65) 委員が唐突な質問をした。
- (66) 理髪店が隣にある。
- (67) その叙述は修正された。
- (68) 家族で食卓を囲む。
- (69) 私は美術で塑像を作った。
- (70) 和歌発祥の地を訪れる。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

漢字の問題

- (71) 倉庫に鎌をしまう。
- (72) 襟を正して話を聞く。
- (73) 弟が憎まれ口をきく。
- (74) ズボンの裾が長い。
- (75) カーテンが日差しを遮る。
- (76) 滝の水しぶきを浴びる。
- (77) 甘いお菓子を食べる。
- (78) 蜂が飛んでいる。
- (79) 情報が漏れない体制だ。
- (80) 地域の子守唄を調べる。
- (81) 子どもが笑顔を見せた。
- (82) 誤って飲み込む虞がある。
- (83) 服が汗で濡れている。
- (84) 彼女は感極まっている。
- (85) 珍しいお土産をもらった。
- (86) 海の幸が豊富だ。
- (87) 速やかに先生に報告する。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

- (88) 姉が演奏会で木琴を弾く。
- (89) 仕事の邪魔をしないようにする。
- (90) 私はゴールへと疾走した。
- (91) 私は哀悼の意を表した。
- (92) 姉は温厚な性格だ。
- (93) 湖畔の別荘が完成した。
- (94) 彼は勇敢に立ち向かう。
- (95) 人口が漸次増加する。
- (96) 巧妙な手口に困り果てる。
- (97) 浴槽からお湯があふれる。
- (98) 養蜂場が近くにある。
- (99) 寛容な気持ちで見守る。
- (100) いくつかの禁忌がある。
- (101) 団体が訴訟を起こした。
- (102) 出演の直前は緊張する。
- (103) 上達には忍耐が必要だ。
- (104) 火縄銃の歴史を調べる。
- (105) 答えは一目瞭然だ。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

漢字の問題

- (36) 会社のリエキを上げる。
- (37) おもしろみがハンゲンした。
- (38) 友達に本をカす。
- (39) 将来のことはヨソクできない。
- (40) 富士山をハイケイに写真をとる。
- (41) ジシヤクを使って方位を調べる。
- (42) 先生にソウダンする。
- (43) コウシキを使って面積を求める。
- (44) 鏡にスガタをうつす。
- (45) かぜをヨボウする。
- (46) 祭りの日程をケントウする。
- (47) あいさつをカわす。
- (48) 地域の人をショウタイする。
- (49) メートルは長さのタンイである。
- (50) 鉛筆をカリる。
- (51) おやつをキントウに分け合う。
- (52) 着物に合わせてオビを選ぶ。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

- (53) 円のハンケイを求める。
- (54) 計画を行動にウツす。
- (55) ビヨウソク五メートルの風。
- (56) 地図のシユクシヤクを調べる。
- (57) アマったお金を貯金する。
- (58) 大学で歴史のケンキユウをする。
- (59) 今までにないドクソウ的な考え。
- (60) 家の庭に花をウえる。
- (61) 組織のキボを大きくする。
- (62) 雨で運動会がエンキになる。
- (63) 店をイトナむ。
- (64) 紙をひもでタバねる。
- (65) 舞台のマクが上がる。
- (66) 先制点をユルす。
- (67) バスがテイシヤした。
- (68) 料理をのせたサラを運ぶ。
- (69) 勝利をイワう。
- (70) 鳥のスを観察する。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

「解答・解答例、解説」

* 確認が終了したら、【解説】の□にチェック(☑)を入れましょう。

■ 「話すこと・聞くこと」の問題

1 イ

二 どうしてそんなに早いのか。

三 (例) ・ 今日のおすすめの魚は何ですか。 ・ 今日のおすすめの魚の調理方法は何ですか。

・ レシピはどなたが考えているのですか。 ・ レシピを作るときに、注意していることはありますか。

・ いつからおすすめの魚を使ったレシピを無料で配る工夫をしているのですか。

・ この工夫について、お客さんの反応はどうですか。 ・ 評判はよいですか。

・ 店の前の看板には今日のおすすめの魚をだいたい何種類くらい書きますか。

・ 今答えて下さった二つのほかにも工夫していることはありますか。 など

【解説】

□ 一は、インタビューの冒頭で、インタビューの目的を相手に伝える必要性に気付くことができるかを確認する問題である。【準備のメモ】にある「○目的」に着目するとよい。

□ 二は、場面に応じた言葉遣いを理解しているかを確認する問題である。目上である店長に対して「どうしてそんなに早いのか」という問いかけは不適切である。

□ 三は、目的や話の展開に沿って話すことができるかを確認する問題である。直前の店長の話を受けて更に知りたいことを質問するとよい。

2

- 一 エ
- 二 (例)・移動がしやすく便利 ・ 買い物の施設が充実 ・ 住民のマナーがよい (順不同)

【解説】

□ 一は、見出しを付ける過程を確認する問題である。ここでは、テーマに基づいて具体的に想起した自分の経験や知識を大別し見出しを付ける必要がある。伝えたい内容を分類し、見出しを付けて紹介するなどの工夫は、聞き手に伝えたい内容を適切に伝える際に有効である。

□ 二は、テーマに基づいて具体的に想起した内容を、短い言葉で整理して資料を作成することができるかを確認する問題である。短い言葉で適切にまとめた資料は、説得力のある話をする際に効果的に働く。

■「書く」との問題

3

一 エ

二 とでも

三 (賛成の例)

・(私は、山田さんの意見に賛成です。なぜなら、) 家庭のゴミをコンビニエンスストアや駅のゴミ箱に捨てると、ゴミ箱がすぐにいっぱいになってしまい、本当に利用したい人が使えなくて困るからです。駅などのゴミ箱は、その場所を利用する人のために置かれているものだと思います。

・(私は、山田さんの意見に賛成です。なぜなら、) コンビニや駅のゴミ箱に家庭ゴミを捨てるのは迷惑だからです。先日、ニュースでも、家庭ゴミを処理する業務が大きな負担になっていると報道されていました。 など

(反対の例)

・(私は、山田さんの意見に反対です。なぜなら、) 山田さんの友人が話しているように、駅やコンビニ近くの道端に空のペットボトルや缶が捨てられているのを何度も見かけているからです。そういう人たちはゴミを家に持ち帰るのが面倒なのだと思います。近くにあるゴミ箱を利用すれば、道端へのポイ捨ても防げると思います。

・(私は、山田さんの意見に反対です。なぜなら、) その方が衛生的な場合もあると思うからです。もちろん、家庭ゴミは決まった場所に捨てるのが一番よいと思いますが、期日に捨てられなかったときに生ゴミなどを放置しておきたくないと思う人の気持ちも分かります。 など

【解説】

□ 一は、文章の構成を理解しているかを確認する問題である。山田さんは、身近な出来事を提示し、自分の意見と反対の意見についても取り上げながら、論を展開していることが分かる。

□ 二は、目的に合わせて、書いた文章を整える問題である。駅などのゴミ箱の使い方について、自分の意見を述べるために書き

ている文章であることを踏まえると、貼り紙の文字の丁寧さについては不要な情報である。

□ 三は、賛成、または反対の立場に立って意見文を書く問題である。意見文を書く場合には、客観性や信頼性の高い資料を根拠に用いて自分の意見を述べると説得力のある文章となる。ここでは、自分の知識や経験に基づいて具体的に書くことを求めている。

4

一 へ抜き出した一文◇ うららかな日差しが心地よい季節となりました。

へ書き直した一文◇ (例)・厳しい残暑が続いております。 ・朝晩の気温に秋の訪れを感じます。 など

二 (例)

- ・演奏中の出入りはご遠慮ください。
- ・車でのご来校はご遠慮ください。
- ・スリッパ等、上履きをご持参ください。

など (順不同)

【解説】

□ 一は、状況に合わせて、適切な時候の挨拶を書くことができるかを確認する問題である。今年度の案内文は九月に発行するので、【昨年度のご案内文】にある「うららかな日差しが心地よい季節となりました。」を書き直すといよい。

□ 二は、目的や意図に応じて必要な事柄を過不足なく書くことができるかを確認する問題である。【学校だよりの文章】の中にある必要な事柄を、【昨年度のご案内文】にあるように箇条書きで書くなどの工夫をするとよい。

■読むこと（文学的な文章）の問題

5

一 ア

二 ウ

三 エ

四 イ

五 「菊」を選んだ例

・「その人は何を見ているのだろう。」「その人は菊の何を見ているのだろう。」といった指示語と疑問形を多用することで、作者が「その人」に心を奪われ、純粋にその所作を不思議に思うとともに、優しい思いに満ちたことが率直に伝わる詩である。

・菊の前にじつとたたずむ老人の様子を「まるで地面にすいついたかのように」と比喻を用いて表現しており、読み手としての想像力がかき立てられたからです。 など

（「乳液と弟」を選んだ例）

・会話が多く、時系列で話が進んでいくので分かりやすい。また、作者の希望の香りを表現したと話しているように、乳液という言葉が出てくるたびにレモンの匂いがするようだ。

・「パタパタ」、「ぶーん」、「パチン」、「ペタペタ」など擬音語や擬態語がたくさん使われていて、「菊」よりも臨場感のある詩だからです。声に出して読んでも楽しいのではないかなと思いました。 など

【解説】

□ 一は、比喻を使った表現が示している内容に注意して読んでいるかを確認する問題である。「わたし」が苦心して二つの詩を書き上げたことを表現している。

- 二は、本文の内容について理解して読んでいるかを確認する問題である。先生に提出した二編の詩について、『やり直し』あるいは『書き直し』を命じられるんだろうな。」と想っていた「わたし」が、「これね、どっちもすぐよかったわよ。それぞれの『希望』もよく表れていたし」と、予想に反して先生にほめられた展開を読み取る必要がある。
- 三は、本文の内容とその展開を理解して読んでいるかを確認する問題である。実際見たことについて興味を抱き、自分の想像を加えながら創作したことについて「もしも一部が想像と創作だとすれば、そこがいちばん、よかったわ」と評価されたことを読み取る必要がある。
- 四は、二編の詩を読み比べ、それぞれの特徴について理解しているかを確認する問題である。詩そのものの内容に加え、文章の展開を踏まえながら内容を理解する必要がある。
- 五は、選んだ詩について、表現の仕方に着目して自分の考えをもつことができるかを確認する問題である。例えば、正答例に示したような表現の仕方に着目して詩を味わうことができる。

■読むこと(説明的な文章)の問題

6 一 エ

二 ア

三 ウ

四 A イ B ア C ウ

五 (例) ・① チョコレートの種類によるカロリーの違いについて ② チョコレート／カロリー

・① 各国のチョコレートの生産量 ② チョコレート／生産国／生産量

・① 「食べるチョコレート」はいつから作られたのか ② チョコレート／歴史／起源

・① 融解特性はどうやって調べるのか ② 融解特性／調べ方

・① カカオの産地はどこか ② カカオの産地 など

【解説】

□ 一は、筆者が「皮肉な話」であると表現した内容を理解して読んでいるかを確認する問題である。「カカオの産地である熱帯雨林地方は気温が高いため」、ココアバターが固まらず、カカオの産地であるにも関わらず「食べるチョコレート」がつかれないことを読み取る必要がある。

□ 二は、本文に引用されている図を活用しながら内容を理解して読んでいるかを確認する問題である。「ココアバターを固めて『食べるチョコレート』をつくれるようになった」ことを踏まえ、「チョコレートには、ココアバターと砂糖のほかに、カカオマスも入っています」という説明と、図にある「ココアバター結晶」という説明を合わせて読む必要がある。

□ 三は、本文の内容を正確に理解して読んでいるかを確認する問題である。「横軸は温度」、オリーブオイルに比べて「バターは結晶の割合がかなり高くなっています。とはいえ、それでも結晶が占める割合はおよそ四〇%。」、ココアバターは、「低温での結晶の割合がバターよりも高く、温度が上昇してもしばらくはその割合があまり変わりません。(中略)さらに三〇℃を超えると、一気に結晶の割合が減少する。」という部分を読み取る必要がある。

□ 四は、文章の論理の展開を理解して読んでいるかを確認する問題である。小見出しは、各段落に書かれた内容を端的に示したり、各段落で筆者が読者に伝えたい内容を短くまとめたりしたものであることを理解する必要がある。

□ 五は、知識を広げるために、課題をもって本や資料を読み進めることができるかを確認する問題である。ここでは、明確な課題を設定した上で、インターネットでどのように課題を追求していくことができるかを具体的に考える必要がある。検索窓には、課題を踏まえて様々な内容を入力することが考えられるが、単語で入力すると比較的多くの検索結果を得られる。また、複数の単語を入れることで検索内容が絞られる。目的とする内容に到達しない場合は、単語を変更したり増減したりするとよい。

■ 語句などの問題

7

- | | | | | | | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 一 | ① A | ② A | ③ B | ④ B | ⑤ A | ⑥ A | ⑦ B | ⑧ A | ⑨ A | ⑩ B |
| 二 | ① イ | ② エ | | | | | | | | |
| 三 | ① エ | ② ア | ③ イ | ④ ウ | | | | | | |
| 四 | ① エ | ② ウ | | | | | | | | |
| 五 | ① エ | ② ウ | | | | | | | | |
| 六 | (例) | | | | | | | | | |

お届け先	〒	9	6	3	-	2	9	3	7
	ご住所	福島県郡山市							
		小林通り町3-5-7-920							
	おなまえ	野村 誠 様							
	電話番号	024(39)2587							
ご依頼主	〒	6	8	2	-	0	3	9	5
	ご住所	鳥取県倉吉市							
		海田北の町9-4-3							
	おなまえ	谷中 美知子 様							
	電話番号	085(85)3023							

七

- (1)は (2)さみだれ (3)しげ (4)おじ (5)つつし (6)ゆ (7)ゆ (8)おば (9)かわ (10)いこ (11)おろ
 (12)ぜに (13)かせ (14)のき (15)さず (16)まぎ (17)けた (18)ろく (19)ペキ (20)とん (21)ふん (22)ぷ
 (23)けん (24)ぼんよう (25)ほ (26)たい (27)ちん (28)るい (29)ふ (30)しゃく (31)こう (32)しゅ (33)こく
 (34)だ (35)まつ (36)そで (37)まゆ (38)つめ (39)はがね (40)っ (41)い (42)うず (43)すけだち (44)ぞうり
 (45)かべ (46)い (47)もめん (48)ゆくえ (49)つつし (50)なべ (51)っ (52)こ (53)ぐう (54)けん (55)じ
 (56)さん (57)とう (58)ご (59)ごう (60)い (61)しゅ (62)かく (63)きつさ (64)ほ (65)とう (66)はっ (67)じよ
 (68)たく (69)そ (70)しょう (71)かま (72)えり (73)にく (74)すそ (75)さえぎ (76)たき (77)あま (78)はち
 (79)も (80)うた (81)えがお (82)おそれ (83)あせ (84)きわ (85)めずら (86)さち (87)すみ (88)きん (89)じや
 (90)しっ (91)とう (92)こう (93)はん (94)かん (95)ぜん (96)こう (97)そう (98)ほう (99)かん (100)き
 (101)しょう (102)きん (103)たい (104)じゅう (105)りょう

八

- (1)加速 (2)俳句 (3)訓練 (4)承認 (5)典型 (6)省 (7)金額 (8)久 (9)運賃 (10)故障 (11)混乱 (12)処置
 (13)通訳 (14)服装 (15)郵便 (16)権利 (17)補 (18)改革 (19)傷口 (20)厳密 (21)遺産 (22)吸 (23)裁 (24)就職
 (25)推理 (26)誠実 (27)宣伝 (28)忠告 (29)勤務 (30)討論 (31)批評 (32)演劇 (33)奮 (34)除 (35)関心 (36)利益
 (37)半減 (38)貸 (39)予測 (40)背景 (41)磁石 (42)相談 (43)公式 (44)姿 (45)予防 (46)検討 (47)交 (48)招待
 (49)単位 (50)借 (51)均等 (52)帯 (53)半径 (54)移 (55)秒速 (56)縮尺 (57)余 (58)研究 (59)独創 (60)植
 (61)規模 (62)延期 (63)営 (64)束 (65)幕 (66)許 (67)停車 (68)皿 (69)祝 (70)巢

【解説】

- 一は、和語と漢語を取り上げている。同じような意味をもつ言葉でも、詳しく見ていくと意味や用法、受ける印象などが異なる場合がある。相手や場面に応じて適切な言葉を選択することが大切である。
- 二は、数字が使われている四字熟語を取り上げている。このほかにも数字を使った四字熟語は多い。資料集などで探してみるとよい。
- 三は、体の部分の名称が使われている慣用句を取り上げている。取り上げたもの以外にも耳、口、手、足など、体の部分を使った慣用句は多い。教科書、本、新聞などで慣用句を見つけたら、ノートに書き留めておくとうい。
- 四は、日常でも耳にすることの多いことわざを取り上げている。昔から世間に広く言いならわされてきた、教訓や風刺などを含んだことわざを知り、適切に使うことは、自分の語彙を豊かにすることにつながる。
- 五は、目上の方に対してどのような敬語を用いるかを確認する問題である。最終学年であることを踏まえ、敬語の使い方をその種類（丁寧語、尊敬語、謙譲語）とともに確認し、生活の中で適切に使えるように心がけるとよい。
- 六は、荷物の伝票を書くことを取り上げている。複数枚重ねて複写することから、ボールペンなど先の硬いペンで書くとうい。ペンの色は、黒色が一般的である。
- 七は、漢字の読みを取り上げている。この他の用例についても、教科書や辞書などで確認するとよい。
- 八は、漢字の書きを取り上げている。同音の漢字などに注意して書くとともに、意味が分からないものについては辞書などで調べることが大切である。

(参考)

本教材は、中学校国語に関する次の問題等を活用して作成しています。

- ・ 特定の課題に関する調査
- ・ 就学義務猶予免除者等の中学校卒業程度認定試験
- ・ 全国学力・学習状況調査

中学校三年生用振り返り学習教材（国語） 令和二年七月

発行 文部科学省 〒一〇〇―八九五九 東京都千代田区霞が関三丁目二番二号

協力 東京書籍株式会社、学校図書株式会社、株式会社三省堂、教育出版株式会社、光村図書出版株式会社

著作権 本教材は、学校現場で子供たちの学びを支援することを目的として、文部科学省で作成したものです。各学校の

設置者及び学校等におきましては、当該目的・趣旨を踏まえた利用をお願いします。

なお、**5**及び**6**の問題は、本教材の使用についてのみ許諾をいただいていますので、本教材以外での使用、転載はできません。